

「情報公開文書」

受付番号：受付-24108

課題名：コーチング・スキル・アセスメント・プラスの信頼性・妥当性の検証
および看護実践と後輩指導に活かすコーチング研修における受講者のスキル他
者評価の前後比較

1. 研究の対象

対象1：岡山大学病院に勤務する看護師で、2018・2019年度に看護部で実施する「コ
ーチング継続研修」（全3回）を受講した方（受講者1）

対象2：対象1が職務遂行上、重要と考える関係者（協力者1）

対象3：岡山大学病院に勤務する看護師で、2018・2019年度に看護部で実施する「教
える・指導する基礎を学ぶコーチング研修」を受講した方（受講者2）

対象4：対象3が職務遂行上、重要と考える関係者（協力者2）

対象5：国際コーチ連盟認定プロフェッショナルコーチもしくはマスターコーチ資格
保持者で、有料でコーチングセッションを提供しているプロコーチ（プロコーチ）

対象6：対象5による有料のコーチングセッションを3か月以上定期的に受けてい
る、個人契約のクライアント（クライアント）

ただし、対象4は対象2と重複していない者から選出する。

2. 研究期間

2018年6月（倫理委員会承認後）～2023年3月

3. 研究目的

目的1：コーチングで用いられるコミュニケーションスキルを評価するコーチング・スキ
ル・アセスメント・プラス（CSAplus）の他者評価尺度としての信頼性と妥当性を検証す
ること

目的2：岡山大学病院看護部で実施する2種類のスキル教育研修参加者の、研修前後にお
けるスキル他者評価の推移を明らかにすること

目的3：岡山大学病院看護部で実施する2種類のスキル教育研修において、受講者のスキル
向上に影響する要因を明らかにすること

4. 研究方法

目的1：コーチングで用いられるコミュニケーションスキルを評価するコーチング・スキ

ル・アセスメント・プラス（CSAplus）の他者評価尺度としての信頼性と妥当性を検証する

○実施時期：2018年6月- 2019年8月

○用いる質問紙

①CSAplus：（株）コーチ・エイが開発した、コーチングで使うコミュニケーションスキルについて12カテゴリー24質問項目とし7段階で評価する尺度（無記名）（所要時間 約10分）

②主観的健康感尺度（SUBI）日本語版：大野らによって信頼性と妥当性が確認された、主観的健康感を構成する陽性感情・陰性感情の2つの尺度から構成される自己記入式質問紙。40項目を3段階で評価する（所要時間 約10分）。

③患者安全文化尺度日本語版：種田らによって信頼性と妥当性が検証された、安全文化を測定する自己記入式質問紙。12因子42項目に6件法（5段階と「該当しない」）で回答する（所要時間 約15分）。

○対象者と用いる質問紙

協力者：CSAplus、SUBI日本語版、患者安全文化尺度日本語版

クライアント：CSAplus

○方法

協力者：受講者のコミュニケーションスキルをCSAplusで評価したもの、SUBI日本語版・患者安全文化尺度日本語版に回答する。

クライアント：プロコーチのコミュニケーションスキルをCSAplusで評価する。

プロコーチ：CSAplusの項目内容の適切性について専門家としての意見を収集する。得られたデータを用いて、CSAplusの信頼性と妥当性を検証する。

目的2：岡山大学病院看護部でスキル教育研修を実施し、研修の前後で受講者のスキル他者評価がどのように変化するかを明らかにする

研修前・研修後・研修半年後に、協力者がCSAplusを用いて受講者のコミュニケーションスキルを評価する。総スコアの平均値が研修前・研修後・研修半年後にどのように推移するかを明らかにする。

目的3：岡山大学病院看護部で実施したスキル教育研修において、受講者のスキル向上に影響する要因を明らかにする

研修前・研修後に協力者がCSAplusを用いて受講者のコミュニケーションスキルを評価する。総スコアが向上した群と非向上群で、受講者の職務経験年数・受講動機・過去の研修受講歴の有無がスキル向上に影響するかどうかを検証する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、職務経験年数、質問紙への回答 等

6. 外部への試料・情報の提供

提供していただいたデータは、匿名化し、電子的配信等を用いて共同研究機関に提供します。対応表は、岡山大学病院看護部の研究分担者が保管・管理します。

7. 利益相反（企業等との利害関係について）

（本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、同意説明文書において、企業等との利害関係の開示を行っています。）

本研究の研究責任者である出江教授は、株式会社コーチ・エイから年間 200 万円以上の研究費を受け入れて共同研究を実施しており、本研究は、その共同研究費を財源として実施する多施設共同研究であり、本学は総括施設です。

本研究は東北大学の研究責任者のグループにより公正に行います。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合はその都度、東北大学利益相反マネジメント委員会へ申告し審査を受けることにより、本研究の企業等との利害関係についての公正性を保ちます。

8. 研究組織

東北大学大学院 医工学研究科 リハビリテーション医工学分野 出江 紳一
岡山大学病院 卒後臨床研修センター 医科研修部門 佐藤 明香
株式会社 コーチ・エイ 番匠 武蔵

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて対象となる方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象となる方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：佐藤 明香
岡山大学病院 卒後臨床研修センター 医科研修部門
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL：086-235-7877

当施設の研究責任者および研究代表者：出江 紳一

東北大学大学院 医工学研究科 リハビリテーション医工学分野

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-717-7338

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合